

APPROACH
SCHOOL OF ECONOMICS

2020

経済学への
アプローチ

名古屋大学
経済学部案内



名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY



幅広い教養・知識
論理的思考力

専門的知識

T字型人材の育成

どのような経済活動も、多くの人々の協働と多様な知識の結集によって成り立っています。製品を作って売るという単純な行為ができ、何を作るのか、どうやって作るのか、作るのに必要な労働力、資材、資金の調達はどうするのかなど、それぞれに専門的な知識や技術、それらを担う人々の協力が不可欠です。そして、このために必要な知識は、人文科学や自然科学の領域にまで広がっており、そのすべてを一人で勉強してマスターすることは現実的ではありません。そこで、経済学部の卒業生には自分自身の専門分野を磨くとともに、幅広い分野の人との協働を可能にする学識が求められます。ここでいう学識とは、コミュニケーションの基礎となるような幅広い教養や知識、および論理的思考力のことです。このような学識と専門的知識を兼ね備えた人のことをT字型人材と呼ぶことがあります。Tの横棒が異分野の人との連携を可能にする学識、縦棒の部分が深く掘り下げた自分の専門的知識の部分です。

名古屋大学経済学部は、前身である旧制名古屋高等商業学校(1920年創立)以来100年に迫る伝統の中で、まさにT字型人材を育成してきたといえます。専門(Tの縦棒)を徹底的に鍛える3、4年次のゼミと卒論研究は、一人の教員が指導する学生を原則8名までとする徹底した少人数教育を厳格に実践しています。また、幅広い学識(Tの横棒)を獲得するために、1、2年次に行われる全学教育(一般教養)だけでなく、専門科目群の中に理論的アプローチ、歴史的アプローチ、事例研究、実地調査など多種多様な科目を用意しています。かつての旧制名古屋高等商業学校が、「単なる商業経済の専門学校でなく総合大学としての偉容を有する」と賞賛された、そのDNAを今に引き継ぎ、有為なT字型人材を自然に育むカリキュラムを展開しています。

1



経済と経営を複眼的に学ぶカリキュラム

名古屋大学経済学部のカリキュラムの特徴は、経済理論・経済政策、制度経済学・経済史、経営学・会計学という幅広い分野を網羅していることです。経済学部は経済学科と経営学科とに別れていますが、どちらに所属しても、これらの分野を一通り勉強することになります。これによって、社会や市場全体を見渡す

「経済学的視点」と、個別企業の立場から考える「経営学的視点」を同時に持つ複眼的な人材を育成します。また、歴史を通じて多様な経済体制について学ぶことで、現代社会を様々な切り口で分析できる人材を育成します。

分野	分野の特徴	経済学		
		1年	2年春学期	2年秋学期～4年
理論・政策	「経済学」と聞いて最初に思い浮かべる主流派の経済学(近代経済学)を学びます。数理的な理論分析と統計的な実証分析を通じて、財政、労働、金融、農業、教育、医療などの社会問題を考える方法を学びます。「経済学を学んだ」と言うためには、欠かすことのできない分野です。	統計解析 経済数学A 経済数学B マクロ経済学 ミクロ経済学 計量経済	マクロ経済学 ミクロ経済学 計量経済	国際経済 公共経済 経済政策 財政 金融 経済発展 労働経済 産業組織 農業経済
制度・歴史	経済学は大がかりな実験ができません。そこで、各国の多様な制度や歴史を手掛かりにして、政治・文化・社会など、多様な側面を考慮しながら、資本主義経済の仕組みを理解しようとする分野です。主流派の経済学を絶対視せず、批判的な目を持って理解するためにも欠かせない分野です。	政治経済学 一般経済史	政治経済学 一般経済史	経済学史 現代資本主義 日本経済史 西洋経済史 社会思想史
経営・会計	経済理論は、人や企業が合理的に行動すること、情報が完全に行き渡っていること、市場への参入・退出が自由であることを仮定しています。これを、立場を変えて、どうすれば合理的に行動できるか、どうやって情報を収集・処理するべきか、いつ、どうやって市場に参入・退出するべきかを考えます。3分野の中ではもっとも実践性を重視する分野です。	会計 会計 経営 財務諸表	経営 財務諸表	財務会計 管理会計 経営組織 ファイナンス 生産管理 情報処理 国際会計 経営分析 経営労務 マーケティング 経営戦略 監査 経営情報

2



ゼミナールで学ぶ

徹底した少人数制による専門研究と人格的交流の場

経済学部のカリキュラムにおいて、ゼミナールは重要な役割を果たしています。ゼミは必修で、教員と原則8名までの学生によって構成されます。ここで専門分野の研究を集中的に行います。

まず2年次秋学期に、各教員によるゼミのテーマの発表、先輩達によるゼミ紹介などを参考にしてゼミを選択し、書類審査や面接を経て、所属ゼミが決定されます。そして、3年次からゼミが始まります。各ゼミの活動内容は多種多様ですが、一般的には、数冊のテキストを読み、報告・討論する形で運営されます。工場見学や企業調査を行ったりするゼミもあります。また、夏休みには、レポートが課されたり、ゼミ合宿を行ったりすることもありま

す。インターゼミナール(他大学との研究発表会)に参加するゼミもあります。4年次には、卒業論文の作成が重要な課題となります。研究テーマを絞り込み、より専門的な文献を読んだり、詳細なデータ分析をしたりします。そして1月中旬に、4年間の勉学の集大成として、卒業論文を提出します。

この他にも、ゼミ旅行やコンパ等、ゼミ単位の行事がたくさんあります。このように、ゼミは単に専門知識を学ぶだけの場ではなく、教員や学生同士の人格的交流の場でもあります。ゼミ活動にどのように関わるかで、経済学部の生活は大きく変わるといっていいでしょう。



藤田ゼミナール

藤田ゼミでは、理論と実証の両面から現実問題にアプローチする分析力・思考力を身につけることを目標としています。3年春学期では、一事業がもたらす経済波及効果やCO₂排出量を測定できる産業連関分析という実証手法を習得します。また秋学期では理論分析の一環として「効率と公正の関係」を題材にした専門書をベースに、両者がどのような条件の下で両立するかを考察します。ゼミで得られた知見を4年時に共同論文としてまとめ、インゼミで報告したり、キタン会懸賞論文に応募したりしています。

4年 竹岡日菜さん

藤田ゼミでは三年次から複数人のグループで共同研究に取り組みます。が、特に苦労したのは、このテーマ選びでした。「研究」というものが何かかわからず、最初は流行に乗って「インスタ映え」や「バズる」のメカニズムについて研究しようとしていました。しかし、先生からのダメ出しを受け、愚痴を言いながらグループで話し合うなかで、目的意識をしっかりと持ち、自分たちの力でいかに意義のあることをするかが重要だと気づきました。最終的に私たちのグループは、『京都議定書の反省とパリ協定への展望』というテーマのもと、日本における二酸化炭素排出量の要因分解を行いました。自分たちの力で0から1を生み出すことは、通常の講義にはないゼミならではのやりがいです。



田村ゼミナール

田村ゼミでは、1・2年次に学んだ経済学・経営学の知識を基礎として、現実社会の現象や問題を分析する応用力を身につけます。特に大人数の講義ではあまり学ぶことができない「データを集計・可視化するスキル」や「プレゼン資料・レポートの作成技術」に重点を置き、事例調査やグループディスカッションを通じてより専門的な内容を学んでいきます。具体的な研究テーマは各自が主体的に決め、卒論に向けて発展させていきます。

4年 中野佑香さん

田村ゼミでは自分たちで決めたテーマに沿ってデータを収集し分析しています。私の場合、授業で知った「情報過負荷」について調べ、化粧品品の口コミデータを自分で集め仮説を検証しました。当初の予想と反対の結果になるなど、研究の難しさを実感することも多くあります。データを分析した後は資料を作成し、ゼミの時間でプレゼンと質疑応答を行います。それぞれ異なった視点を持つゼミ生との議論を通じて日々刺激を受けています。

教授陣の研究成果

ゼミナールに所属するようになると、教員との距離はぐっと近づきます。ふだんの講義でみられなかった教員の表情や姿、そして研究内容に触れることになるでしょう。経済学部の教員は、日々、研究に取り組み、専門書や学術論文を執筆しています。で

すが、そうした難解な研究成果の他にも、中高校生や一般の方向けの比較的やさしい本もたくさん世に送り出しています。ここでは、そのような書籍の一部を教員の声とともに紹介します。

BOOK



簿記がわかってしまう魔法の書
日本実業出版社
著書：小沢 浩

簿記は、単純な秩序の下に、どんな複雑な取引も簡潔に表現してしまう非常に巧妙な仕組みです。詩人のゲーテは、その巧妙さを「人間の精神が産んだ最高の発明の一つ」と称えたそうです。また、簿記を知っていると、世の中の見え方が変わります。「資産と費用は同じ仲間」「負債と資本は同じ仲間」と聞くと、違和感を感じる人も多いでしょう。簿記を知れば、それが分かります。資本主義に欠かせない「利潤」や「資本」の抽象概念も、簿記を理解して、はじめて明確にイメージできるのです。しかし、簿記の授業は、期末試験や検定試験対策にとど

まって、その魅力を伝えられていません。そこで、この本を書きました。本のコンセプトは「簿記の絵本」です。妻が幼稚園のサークルで、手作り絵本を作っていたのを真似してみました。ストーリーは、10歳のルカ=パチョーリ(後に会計学の父とよばれる)が、魔法使いに簿記を教えてもらうというものです。また、簿記の全体像をつかみやすくするために、説明方法も、一般的なテキストとは少し変えてみました。残念ながら、「絵本」としての完成度は低いのですが、「簿記の本」としては、これまでにない一冊になったと自負しています。

BOOK



文系と理系はなぜ分かれたのか
星海社新書
著書：隠岐 さや香

文系と理系にわけるのはもう古い、と言われることがあります。でも、現実の社会では今でも受験や就職の場面でそれを意識させられます。また、SNSには「理系に進学したかったけど女の子は向かないと言われた」「男が文学部はやめとけといわれた」などの呟きもみられます。研究者の世界では、文系理系という言い方こそあまりありませんが、人文社会系と理工医系などの区分は存在しています。本書は「文系・理系」をめぐるこの不思議な状況をわかりやすく整理するために書かれました。第一章では、西洋世界で発展した様々な学問の分

野が「自然科学」と「それ以外の分野」(すなわち人文社会科学)に分かれていく歴史をまず確認します。第二章では、日本が近代化の際に文系・理系という枠組みとどう向き合ったのかということ、第三章では産業界が文系・理系をどのように扱ってきたのかという問題を検証します。第四章では冒頭に書いたようなジェンダーの問題が文系・理系進学とどのように関わってきたかも考察しています。そして最終章では文系・理系の諸学問の特徴を踏まえた上で、「文理融合」や「学際的研究」の可能性および難しさの双方について論じています。

2018年度に出版された書籍一覧

小堀聡 『京急沿線の近現代史』 クロスカルチャー出版
清水克俊 『金融経済学入門』 東京大学出版会

多和田真・柳瀬明彦 『国際貿易』 名古屋大学出版会
花崗誠 『産業組織とビジネスの経済学』 有斐閣

3



海外派遣プログラムで学ぶ

大学全体のプログラムに加え、経済学部独自の海外派遣プログラムも充実

名古屋大学経済学部では、グローバル人材の育成を目指して、複数の国際交流プログラムを提供しています。例えば、ドイツ・フライブルク大学への夏期派遣プログラム、ベトナム貿易大学への派遣プログラム、シンガポール国立大学への派遣プログラムなどがあります。1学年205名の入学定員に対して約40名分の枠が用意されているため、5人に1人はこれらのプログラムを利用して海外経験をすることになります。また、これらの派遣プログラムでは、政府や企業、大学や同窓会(キタン会)から資金的な支援を頂いて、学生の渡航費用を補助しています。

学生の派遣だけではなく、ベトナムやシンガポールなどの海外協定大学の学生の受け入れも行っています。日本にきた学生は、学内で講義を受講するだけでなく、名古屋大学の学生と一緒に工場見学やグループワークに参加しています。名古屋大学の学生は、日本に居ながらにして、あるいは、自分が海外派遣プログラムに参加する前に、国内で海外の優秀な学生と触れあい、一緒に学ぶことができます。

さらに、名古屋大学全体としても、世界に100以上の協定大学をもち、数多くの海外派遣プログラムを提供していますので、学生は自分の語学レベルや目的に合ったプログラムを選択することができます。経済学部の派遣プログラムを経験した学生の多くが、その後、交換留学しています。

	<p>● ベトナム貿易大学への派遣 時期：11月頃／日数：2週間／人数：20名程度／内容：日本企業の訪問・研究報告</p>
	
<p>● シンガポール国立大学への派遣 時期：2月頃／日数：10日間／人数：10名程度／内容：日本企業の訪問・現地学生とのディスカッション</p>	<p>● フライブルク大学への派遣 時期：9月頃／日数：4週間／人数：10名程度／内容：語学研修・フィールドワーク</p>

4



学部・修士5年一貫教育プログラムで学ぶ

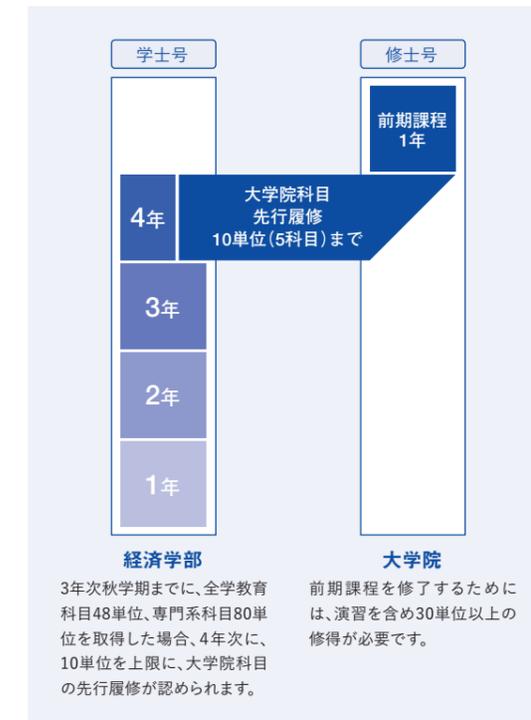
+1年で取得するプロフェッショナルへのパスポート

経済学部の4年の課程を修了すると、みなさんには、「学士」という学位が授与されます。その後、大学院で2年の課程(前期課程)を修了すると「修士」、さらにその後3年の課程(後期課程)を修了すると「博士」の学位が授与されます。修士は「マスター」、博士は「ドクター」ともよべれます。修士号を取得するということは、先端的な研究についてもよく理解して、学術的な調査や分析の方法を修得しているということです。

日本の、特に文系の学部では、修士・博士という学位を取得することは、あまり重要視されていないようです。しかし、日本でも、理系の学部では修士の学位を持つことは普通になっています。また、海外では、どの大学を卒業したかに加えて、学士・修士・博士という学位の違いが意識されることも多いようです。将来、グローバルな企業で働こうと思っている人は、修士号を取得しておいても損をすることはないでしょう。

名古屋大学の経済学部には、学部4年+修士2年の計6年の課程を5年(学部4年+修士1年)で短縮修了できるプログラムがあります。3年次に一定の成績基準を満たしている学生はこのプログラムに挑戦することができます。

■ 学部・修士5年一貫教育プログラムの仕組み



わたしが大学院で学ぶ理由



経済学研究科
 社会経済システム専攻
 M1 川合 恵介さん

私が大学院へ進学する決意をしたきっかけは、学部3年時から始まるゼミ活動でした。ゼミの優秀な同期と共に勉強する中で、私は「何を頑張れば、彼らと勝負できるのだろう」と悩みました。そして出した答えが、学部修士5年一貫プログラムを利用して大学院への進学することでした。経済学を学部から一歩進んだレベルで勉強・研究することを通じて、自分自身の「武器」にしよう考えました。また、自分が興味を持った企業の海外進出について、大学院で研究してみたいと思いました。

大学院には、たくさんの授業があり、学部よりも難しい勉強をしなければいけません。苦しいときも

ありますが、大学院には社会人や留学生など、学部とは異なる人々との交流もあり、私は現在とても楽しく勉強できています。また、同期が就職活動をしている間に頑張った研究が、キタン懸賞論文で評価され、賞をいただいたことも励みになっています。特に、学部4年時から大学院の授業を先行履修でき、スピード感を持って修士号まで取得できる本プログラムは、自分に合っていると思っています。経済学をもっと勉強したい、もっと研究したいと思っている方は、ぜひ学部・修士5年一貫プログラムに申し込んでみてください。



経済学部 経済学科
 4年 渡邊 稜介さん

私の大学生活における留学は、1年生の夏休みにアメリカの語学研修に行ったことから始まりました。その後、2年生の夏休みにオーストラリアでグローバルプロフェッショナルプログラムに参加し、3年生の夏からシンガポール経営大学(SMU)で2学期間の交換留学を経験しました。

SMUの留学中、私はファイナンス、マーケティング、会計、組織論の授業を履修しました。SMUで私が受けたほぼ全ての授業において現地学生と5人程度のグループを組み、プレゼンテーション等のプロジェクトワークが課されました。具体的な課題は、実際の企業の分析をし、現状

の問題点を解決するようなビジネスプランを提案することでした。グループワークを行う中で感じたことは、自分の力不足でした。シンガポールの学生は勉強熱心で、英語力、知識の量で圧倒されました。そこで、自分の力を理解し、業界分析などチームに貢献できる部分を見つけ、必死にやり抜いたことは自分の自信になりました。

今回の海外留学経験は、私にとって決して楽なものではありませんでしたが、学問的な知識に加え、忍耐強さ、実用的な英語力、そしてグループワークに必要なコミュニケーション能力など人間的な面でも学ぶことが多かったです。

シンガポール国立大学の学生コメント

名古屋大学の近郊にある自動車工場の見学をすることができ、「Kaizen」や「Kanban」方式を見ることができました。その後、名古屋大学の学生と一緒に工場の管理や生産方式について議論することができたのは非常に有意義でした。また、シンガポールでの市場のシェアが50%を超えている飲料メーカーが名古屋発祥であることを知り、驚きました。工場見学を行い、そこでマーケティング戦

略についての説明を聞きました。同じ商品を世界中で提供するのではなく、「正しい商品を求められる市場へ」という考え方はとても興味深く、市場戦略の新しい学びとなりました。これらの工場見学に行ったとき、日本語の説明文や企業側の解説を名古屋大学の学生がわかりやすく英語に翻訳してくれて、関連する戦略や課題について議論することができたのは、とても価値のある経験でした。

5

.....

卒業後の進路

就職率だけでなく、それぞれの適性にあった就職を支援

本学部では、毎年、ほぼ100%の学生が希望通りに就職しており、各種調査による、経済・経営・商学系の就職率ランキングでは、全国1位になっています。就職先は、製造業、サービス業、公務員まで多岐にわたります。また、毎年15～20名ほどの学生が公認会計士の資格取得を目指しています。

本学部では、同窓会であるキタン会と連携して、単に有名企業

や人気企業への就職を目指すのではなく、学生ができるだけ幅広い業種に目を向けて、適性にあった就職先を見つけるための支援をしています。例えばキャリアデザインについて考える「大学生のための職業論」を開講したり、東証一部上場企業を中心とした60社以上の企業による「キャリア形成講習」の開催、年齢の比較的近いOBと懇談できる企業見学会を開催するなどしています。



2018年度卒業
トヨタ自動車
萩野 昂希さん

就職活動、ひいては自分の働き方を考える上で、名古屋大学という環境は恵まれています。まずは学生生活の早い段階から、働くことをイメージさせてくれる授業が充実しています。私自身、経済学部が独自に提供する産学連携授業で多くの企業を知りました。さらに海外研修のメンバーに選ばれたことで現地の日系企業がどのように活動しているのかを自分の目で確認することができました。また優秀なOB・OGの方がいらっしゃるため、自身の行動次第では、興味のあ

る企業の方から直接話を伺う機会をいくつでも作り出すことができます。そしてなにより就職活動本番の時期においても、名大生向けの説明会が数多く存在するため、企業がどのような人材を求めているのかをしっかりと把握することができます。

私自身は部活動に精を出していたため就職活動にあまり時間を割けませんでした。名古屋大学の環境を利用したのからこそ今の企業に入社できたのだと思います。



2018年度卒業
有限責任監査法人トーマツ
石川 祥士さん

私は公認会計士です。会計士は「会計のスペシャリスト」であり、企業の経営層の方々と若いころから一人の専門家としてビジネスの議論が出来ると知って魅力を感じました。そのため、私は通常の就職活動と異なり、会社というよりも会計士という職業を選んだと言えます。会計士という職業を選ぶことは、人生の選択肢を大きく広げることにつながります。

会計士になるには試験に合格する必要がありますので、大学と専門学校とのダブルスクールをし

ていました。名古屋大学では同じ資格を目指す仲間がたくさん出会い、一緒に頑張ることができたことが合格に繋がったと思います。

私は大学3年生からトーマツに入社し既に2年目ですが、会計士として働くことがとても楽しいですし、本当に良かったと心から思えます。みなさんも是非会計士として働くことを選択肢に入れてみては如何でしょうか。

大学院進学

大学卒業後、さらに深く学ぼうとする人のための教育・研究のための場が大学院です。大学院は、単に研究者になるためだけのものではありません。大学院には2年の前期課程(修士課程)とその後3年の後期課程(博士課程)があり、前期課程を修了した時点で企業などに就職する道も開かれています。

大学院では、講義を通じて教科書の内容を学ぶだけでなく、指導教員の下で、専門書や論文を読み、実地調査やデータの分析を通じて、学問の本質に迫ります。一方的に知識を教えられるのではなく、指導教員との双方向の対話を通じて「問う力」「考

える力」「説明する力」を身につけます。また、大学院には留学生や社会人として大学院に通っている人達がたくさんいます。こうした多様な人達と触れあい、視野を広げられることも大学院の魅力です。

企業に就職する前に、社会を俯瞰的に捉えられるようになりたい、人とは違う新しい発想をしてみたい、自分の意思決定に自信を持てるようになりたい、そう思ったら、大学院進学も良いかもしれません。



経済学研究科
社会経済システム専攻
M2 倉内 航さん

私が大学院を目指すと思ったきっかけは、学部生のうちに様々な人との出会いの中で、経済学の楽しさやその有用性に気づいてしまったからです。私にとって経済学とは社会を解釈する上での色眼鏡であり、この色眼鏡を通じて、社会の様々な事象の背後にあるメカニズムを認識したり、それらの善悪を判断したりすることができます。今日のインターネットが隆盛を誇る時代においては、情報が飽和しており、きちんとした考察のなされていない憶測や一見正しそうに見えるデマが大量に蔓延しています。このような状況において、自らの人生をより豊かなものとするための的確な意思決定を行うためには、当然それらの

情報に踊らされてはなりません。踊らされないためには、きちんと自分の中で情報の取捨選択ができるような、そういうツールを持っている必要があります。それが自分にとっては、経済学という色眼鏡だったのです。

学部では、大半が「知識の吸収」に大部分の時間が割かれてしまいます。一方で、大学院では、「新しい色眼鏡を作る」ことに次第に活動がシフトしていくこととなります。あなたの研究が、新たな社会の問題を発見することにつながり、その解決を通じて、よりよい社会の実現に貢献することができるのです。こんなに楽しくて、熱い経験をできる場所は大学院を除いて他にはありません。

卒業生就職等状況一覧表

業 種		2016年度	2017年度	2018年度	業 種		2016年度	2017年度	2018年度	
1	農 林 ・ 水 産 業			1	19	小 売 業	3	1	6	
2	鉱 業		1		20	金 融 業	37	35	27	
3	建 築 業	3	7	3	21	保 険 業	7	6	5	
4	製 造 業	食品・たばこ・飲料	7	1	22	不 動 産 業	3	8	5	
5		繊維・衣類・その他の繊維	1	1	23	飲 食 店 ・ 宿 泊 業	1			
6		印 刷 等	1	1	24	医 療 ・ 福 祉	1			
7		化学工業・石油・石炭製品	4	4	4	25	教 育 ・ 学 習 支 援 業	4	5	3
8	鉄鋼業・非鉄金属・金属製品	4	12	7	26	複 合 サ ー ビ ス 事 業		3	2	
9	一 般 機 械 器 具	5	2	10	27	サ ー ビ ス 業	2	7	7	
10	電 気 ・ 情 報 通 信 ・ 機 械 器 具	8	6	8	28	国 家 公 務	6	5	6	
11	電 子 部 品 ・ テ バ イ ス	3	1	1	29	地 方 公 務	25	27	7	
12	輸 送 用 機 械 器 具	17	22	24	30	そ の 他	11	7	22	
13	精 密 機 械 器 具				小 計			182	216	189
14	そ の 他	6	5	6	31	大 学 院 進 学	6	16	8	
15	電 気 ・ ガ ス ・ 水 道 業	4	5	2	32	そ の 他	17	4	10	
16	情 報 通 信 業	20	25	21	計			205	236	207
17	運 輸 業	4	10	6						
18	卸 売 業	3	4	3						

主な就職先(2019年3月卒業)

アイシン・エイ・ダブリュ、アイシン精機、愛知北農業協同組合、愛知銀行、愛知県庁、青山製作所、旭化成、アステラス製薬、アビームコンサルティング、エン・ジャパン、大垣共立銀行、大阪国税局、オービック、オープンハウス、鹿島建設、刈谷市役所、川崎重工業、岐阜県庁、近畿経済産業局、近畿日本ツーリスト中部、国土交通省、ジェイテクト、鈴鹿市役所、住友商事、セイコーエプソン、税理士法人名南経営、瀬戸信用金庫、双日、損保ジャパン日本興亜、第一生命保険、大和証券、中部電力、デンソー、電通、東海東京フィナンシャルホールディングス、東海旅客鉄道、東京海上日動火災保険、凸版印刷、トヨタ自動車、豊田自動織機、トヨタ車体、豊田通商、トヨタ紡織、中日本高速道路、長野朝日放送、長野県庁、名古屋国税局、名古屋市役所、名古屋鉄道、名古屋入国管理局、ニトリ、日本銀行、日本政策金融公庫、日本放送協会、農林中央金庫、野村證券、野村総合研究所、ノリタケカンパニーリミテド、パナソニック、東日本高速道路、東日本電信電話、日立製作所、富士通、フジパングループ本社、ホシザキ、マキタ、マルイ工業、みずほ銀行、みずほ証券、みずほフィナンシャルグループ、三井化学、三井住友海上火災保険、三井住友銀行、三菱電機、三菱東京UFJ銀行、文部科学省、八神製作所、有限責任あずさ監査法人、有限責任監査法人トーマツ、楽天、リクルートホールディングス、良品計画、リンナイ、CBCテレビ、DMG森精機、IHI、JFEスチール、JTB、NTTドコモ、PwCあらた監査法人 ほか

附属機関・施設

学部生・院生の学びをフォロー



名古屋大学には、中央図書館の他に、各学部の図書室があります。経済学図書室は、その蔵書の質と量、閲覧環境等において、名古屋大学の学部図書室の中でも指折りの図書室です。また、経済学部・経済学研究科には国際経済政策研究センターがあり、各種の統計データ、産業、企業、労働等に関する資料を入手することができます。

経済学図書室

経済学図書室は、国内外の経済学及び周辺分野の図書、雑誌、電子ジャーナル、最新のデータベース、電子書籍を揃えています。なかでも、EU、OECD、IMF等の国際機関刊行物、アメリカ等外国政府刊行物は蔵書の特色の一つです。特にEUについては、イギリス等がECに加盟した1973年以来、経済学図書室はEU情報センターに指定され、EU公式資料の主たるものはほとんど受け入れています。

また、伝統ある経済学、社会思想の古典類についてもよく収集されており、貴重書室には、1850年以前に刊行された図書が、



革の背をみせて並んでいます。中には、アダム・スミスの『国富論』、マルクスの『資本論』、ケインズの『雇用、利子および貨幣の一般理論』の初版本等もあります。経済学の礎を築いたり、世界史を動かすものになった名著が、出版時の雰囲気を中心に伝えています。この他に、「イギリス革命文献コレクション」(イギリス革命に関する17世紀から18世紀の原資料およびその研究文献)、小川文庫(イギリス経済学とくに重商主義者、古典学派、リカード派、社会主義派の著作)、徳重文庫(18世紀および19世紀の西欧社会思想)もあります。

さらに、希望する図書や雑誌が学内にない場合も、他大学や国立国会図書館から図書を借用したり、論文のコピーを取り寄せることができるなど、学習・研究に不可欠の図書室となっています。



国際経済政策研究センター

国際経済政策研究センターの起源は、名古屋大学経済学部の前身である名古屋高等商業学校(1920年創立)に設けられた産業調査室です。後に「雁行形態論」で国際的に有名になる赤松要が、実証に基礎づけられた経済の研究をするためには、統計などを体系的に収集する組織が必要であると訴えて、1926年に産業調査室が設置されました。

これを継承した名古屋大学経済学部・経済学研究科は、今日まで、着々とデータを集め続けてきました。90年以上にわたって地道に蓄積された経済統計資料、政府刊行物、企業体資料の



内容は中部地区では抜きでたもので、たとえ大金をつぎ込んでも今からではもう決して作られない貴重な財産となっております。この他、社史の収集や荒木光太郎文庫(元東京帝国大学経済学部教授のコレクション)をはじめ、所蔵コレクションの整理も積極的に行っており、学内外から幅広く利用されています。

もともと、今日では単なる資料収集・整理組織ではありません。1970年代からの度重なる改組によって、研究機関としても着実に発展してきました。研究・教育の両面で経済学研究科と緊密に協力しつつ、広い視点から実証的な調査・研究を行っています。そして、その成果を内外の大学、研究機関をはじめ広く社会に還元しています。

経済学部・経済学研究科同窓会 「キタン会」

各界の第一線で活躍する先輩



名古屋大学経済学部・経済学研究科には「キタン(其湛)会」という、名古屋高等商業学校(1920年創立)から受け継がれた同窓会組織があります。その名称は、中国の古典『詩経』『小雅』篇にある「子孫其湛 其湛日樂 各奏爾能」(天から幸福を授かり、子孫がその恵みを楽しみ、得意の技能を披露している)という子孫繁栄の祝歌から採ったもので、「母校の発展を願ってきた多くの先輩の志を受け継ぎ、後輩の幸福に寄与する」という意味があります。2万1000人以上の卒業生のために、北海道、

東京、関西をはじめ全国に11の支部を設けています。また、名古屋市職員で組織する「丸八キタン会」や、東邦ガス・アイシン精機など、企業・団体別に同窓会を組織しているところもあります。

キタン会は、卒業生の親睦を深めるだけでなく、経済学部や経済学研究科に対して各種の支援事業を行って来ています。入学時から、在学中、卒業時まで、みなさんの学生生活を財政面と人的ネットワークの面から支えて来ています。

- 活動内容 -

01 パーティー、交流会で人的ネットワークをつくらう!

キタン会は年間を通じて、たくさんのパーティーや交流会を主催しています。入学時には、2・3年生が新入生のために企画するウエルカム・パーティーがあります。新入生の9割以上が参加し、先輩とふれあい、新しい友達もできる楽しい催しです。6月の名大祭、10月のホームカミング日には、キタン学生交流会を開催しています。1月には、市内のホテルでニューイヤー・パーティーを開催します。大手企業の会長・社長さんから、各界で活躍する若手OBらが100名ほど参加します。



スゴイ先輩達と親しく話せる、貴重な機会です。そして、卒業式後には、謝恩会を開催しています。

02 学業も就職活動も支援します!

ます。これまでは、豊田自動織機、大同特殊鋼、キリンビール、日本ガイシ、アイシン精機などを訪問し、工場を見学したり、OBと懇談したりしました。また、人気の大手企業(2017年度70社)が参加する「キャリア形成講習」を後援しています。各社を比較して、自分に適した業界・企業を見つけて下さい。さらに、各企業に勤める若手の先輩や内定者による就活相談会を開催しています。先輩だからこそ相談できること、通常の就職説明会では絶対に出ないOBならではの話なども聞くことができます。また、個人的に希望する企業のOBをキタン会が紹介し、そのOBを訪問し、就活の体験談や職場の実情などを直接聞くこともできます。



キタン会では、短期的海外留学を財政的に支援しています。2018年度は、ドイツのフライブルク大学に11名が、ベトナムの外国貿易大学には15名が、シンガポール国立大学には11名がキタン会の支援で短期留学しました。

就職活動を支援するためには、企業見学会を開催して



キタン会 会長
鈴木 武

刈谷高から、1970年経済学部卒。
(元)トヨタ自動車・専務、(現)あいおいニッセイ同和損保・特別顧問

同窓会の仲間が楽しく集う会です!

今年も名古屋大学経済学部にも多くの新入生を迎え、われわれOBも大変嬉しく思います。皆さん、希望に胸膨らませ、これからの学生生活をエンジョイしてください。キタン会は、皆さんが充実した学生生活を送れるよう支援いたします。卒業後はキタンアンとしての誇りを持って多くの同窓生とともに活躍いただけることを期待します。

2

理論 × 実践

社会人大学院生として学ぶ

経済学や経営学の面白さは、二十歳前後の実社会を知らない若者には分かりにくい部分があります。職に就いて、世の中や組織の仕組みを知ると、経済学や経営学の面白さも分かり、興味が増えるのではないのでしょうか。「もう一度勉強してみたい」「もう少し勉強してみたい」とあの日聞いた話をもう一度聞きたいそんな社会人の要請に応えるために、私たちが大学院の社会人リフレッシュコースを立ち上げたのは、1996年のことでした。しかし、当時は、土日・夜間の授業は少なく、授業内容は旧態依然としており、社会人学生の期待に十分に答えることができていませんでした。私たちは、様々な制約がある中で、長く試行錯誤を繰り返してきました。そして、リフレッシュコースの立ち上げから20年目を迎える2016年、もう一度、社会の要請に応えられる大学院づくりにチャレンジすることにしました。土曜日集中講義と夜間講義、実務経験者を講師に迎えた講義を増やし、必ずしも昼間の講義を受講しなくても修了できるようにしました。また、名古屋市立大学の経済学研究科、名城大学の経営学研究科と単

位互換協定を結び、これらの大学院の授業科目を相互履修できるようにしました。社会人が、実務における問題や経験を持ち寄って集い、実務とアカデミズムとが切磋琢磨し合える、そんな学びの場を提供したいと思っています。

	1年次春学期							1年次秋学期		2年次春学期		2年次秋学期	
月	1限 8:45-10:15	2限 10:30-12:00	3限 13:00-14:30	4限 14:45-16:15	5限 16:30-18:00	6限 18:15-19:45	7限 20:00-21:30	1限 19:45	2限 20:00-21:30	1限 19:45	2限 20:00-21:30	1限 19:45	2限 20:00-21:30
文						マネジメントI アカウンティングI	演習						
本													
本													
金													
土													
日													

4

大学院修了後の進路

大学院修了後は、専門知識を活かした職業に就くことが多いようです。前期課程(修士課程)を修了して就職する場合には、金融機関、監査法人、あるいは官公庁への就職が目立ちます。後期課程(博士課程)を修了して就職する場合には、大学などの研究職に就くことがほとんどです。



三菱自動車工業
EV・パワートレイン技術開発本部
パワートレインエンジニアリング
ディレクター
山内 裕司 さん

私は、1996年に名古屋大学院工学研究科博士後期課程を修了し、三菱自動車工業に就職したエンジニアです。現在はエンジンやモーターなどのユニットを事業化する職務に就いています。エンジニアである私が、大学院経済学研究科の扉を叩いた理由は、度重なる企業不祥事の発覚に日本経済の将来に不安を覚えたからに他なりません。「企業経営のあるべき姿は何か?」、この命題への答えを探

前期課程

あずさ監査法人、岡村製作所、監査法人トーマツ経済産業省、十六銀行、住友不動産販売、中京テレビ放送、中部国際空港、東海東京フィナンシャル・ホールディングス、豊田自動織機、中日本高速道路、名古屋銀行、名古屋市役所、日本メナード化粧品、グラザー工業、三井住友海上火災保険、三井ホーム、三菱自動車工業、三菱重工業 ほか

後期課程

宇部工業高等専門学校、小樽商科大学、金沢星稜大学、十六総合研究所、総務省、高崎経済大学、中部大学、テック、同志社大学、東北学院大学、豊田自動織機、名古屋産業大学、名古屋市立大学、名古屋商科大学、南山大学、ニッセイアセットマネジメント、三重県庁、三井物産、三菱UFJ銀行、University of Dhaka ほか

3

他分野 × 経済学

他学部を卒業して経済・経営を学ぶ

経済学・経営学は、法学、数学、工学、政治学、倫理学、心理学、統計学、物理学など、他の学問分野の影響を受けながら発展してきました。最近では、様々な領域融合型の大学院が開設されていますが、経済学・経営学は、まさに文理融合・領域融合の学問であり、その成功事例と言えるでしょう。今では、確立された一つの学問分野であることに誰も疑いを持ちません。しかし、経済学・経営学を発展させるためには、今後もまだまだ他分野の知識が必要です。他の学部で培った専門的知識は経済学研究科でも活かされることでしょう。本研究科は、経済学部以外の学部を卒業した人も広く受け入れています。これまでも、理学部、法学部、文学部、工学部などの卒業生を受け入れてきました。また、研究科の教員にも、経済学部以外の学部を卒業した教員がたくさんいます。こうした仲間や教員と日常的に関わることで、専門的知識だけでなく、異分野の人とのコミュニケーションを可能にする、幅広い教養や知識、論理的思考力を自然と身につけることができます。

大学院入試情報

博士前期課程一般入試

- 1. 出願資格 大学を卒業した者及び出願年度の3月31日までに卒業見込みの者
- 2. 募集人員 〇社会経済システム専攻 30名 〇産業経営システム専攻 14名
- 3. 選抜の方法 (1) 第一次試験(学科試験) (2) 第二次試験(口述試験)〈第一次試験合格者のみ〉 ※英語能力については、TOEFL-iBT / TOEIC / IELTSの成績通知書によって評価します。

博士前期課程社会人一般コース

- 1. 出願資格 大学を卒業した後、通算して満3年以上の社会経験を有する社会人
- 2. 募集人員 10名程度
- 3. 選抜の方法 (1) 第一次試験(学科試験) (2) 第二次試験(口述試験)〈第一次試験合格者のみ〉

出願書類受付期間(一般入試・社会人一般コース共通)

第1次募集 → 8月中旬頃 第2次募集 → 1月上旬頃

専攻	一般入試	社会人一般コース
社会経済システム専攻	A類は3題、B・C・D類は各2題出題される。受験者は、A~D類より合計2題を選択すること。ただし、自分の申請した専攻に対応する類の中から少なくとも1題は選択すること。	A類は3題、B・C・D・E類は各2題出題される。受験者は、全体の中から類を問わず2題選択する。
産業経営システム専攻	C類(経営学) D類(会計学)	
	E類(経済・経営事情関係)	

【問い合わせ先】 名古屋大学文系教務課(経済G) MAIL. soec-apply@adm.nagoya-u.ac.jp



写真協力：株式会社 studio es



理論 × 実践 × 倫理

経済学・経営学の特徴はその総合性にあります。経済学・経営学は、第一義的にはサイエンスであり、経済社会を対象とするデシプリンとして、普遍的に成立する抽象的な理論やモデルを志向します。そのために、先行研究を踏まえて自身の仮説を提示し、資料やデータを集めて仮説の成否を検証するという手続きが繰り返されます。他方で、経済学・経営学は実学でもあります。われわれは家計、企業、政府、その他あらゆる経済主体の提起する課題に対し、適切な解答を用意しなければなりません。そこで求められるものは、科学的に確認され普遍的に成立する理論に留まらず、日本であれ、アジアであれ、当該個別社会において観察される一般的知見や経験であるかもしれませぬ。さらに、人々の厚生の上、経済社会的正義の実現を目指す過程においては、人文学的叡智に裏付けられた倫理的価値判断も避けられません。

経済学・経営学において、これらの要素の結びつきは不可分です。他の社会科学分野でも、同じような理論・実践・倫理の三要素の交絡はあるでしょう。しかし、経済学・経営学ほどの緊張関係にはないと思われます。近年は専門分化が進み、ともすれば視野狭窄に陥りがちですが、私たちは、この経済学・経営学に固有の不可分性・総合性を常に意識して、研究と教育を進めています。

「創統の鐘」は、名古屋大学経済学部の前身である名古屋高等商業学校の第一回卒業生によつて寄贈された其湛塔の塔頂にあつて、二十有余年に亘り授業の開始と終了を告げた時鐘であります。その妙音は近隣の市民にも愛されましたが、太平洋戦争の深刻化とともに、塔は取り壊され鉄材として供出されました。幸い「創統の鐘」は難を逃れ、名古屋大学経済学部で継承され、今日に至っております。

鐘銘は初代校長渡辺龍聖氏の撰になるもので、出典は孟子・二卷の「君子創業垂統、為可繼也。君子は業を創め統を垂れ、繼ぐべきことを為さんのみ」(君子はのちに発展する事業の基礎を築き、その事業を子孫に伝えるようにすればよい)にあります。先人の志を後輩が受け継いで発展させるこの「創統の精神」が鐘の音とともに永遠に本学に伝えられることを祈念いたします。

1 双方向の対話を通じて鍛える 問う力・考える力・説明する力

大学院における学修は、講義科目を履修して単位を取得する、あるいは、本や論文を読んでたくさん知識を身につけることが中心ではありません。むしろ、指導教員との双方向の対話を通じて、研究テーマについて考え、修士論文・博士論文を執筆することが中心です。論文作成の一般的な流れは次の通りです。

多くの場合、研究のテーマは指導教員によって与えられるのではなく、学生自らが見つけ出さなければなりません。そのためには、まず、「どんな問題を解決すれば、我々の『知』が一步前進するのか」を考えます。つまり、まずは「解」ではなく「問い」を発する力を付けなければなりません。「問い」が決まったら、はじめて「解」を探します。しかし、実は「問い」を探す過程において「解」の見当はついていることが多いのです。ただし、それが間違いでないことを、丹念な論証と実証の積み重ねによって確認します。「解」に辿り着いたら、それを論文にまとめます。論文では、自分の発した「問い」がいかに重要であるか、どのような手順で「解」に辿り着こうとするのか、そして、どのような「解」が導かれるのかを、順序よく説明します。

それが間違いでないことを、丹念な論証と実証の積み重ねによって確認します。「解」に辿り着いたら、それを論文にまとめます。論文では、自分の発した「問い」がいかに重要であるか、どのような手順で「解」に辿り着こうとするのか、そして、どのような「解」が導かれるのかを、順序よく説明します。

このようなプロセスを経験することによって、価値ある「問い」を発する力、「科学的な方法で『考える力』、論理的に説明する力」を身につけます。



大学院の開講科目例 (2019年度)

分野	基礎科目	専門科目	課題設定型講義・ワークショップ
理論・政策	上級価格理論I・II 上級所得理論I・II 上級計量経済I・II 上級数理経済I・II 価格理論I・II 所得理論I・II エコノメトリクスI・II	国際経済A・B 公共経済A・B 経済政策A・B 農業経済A・B 労働経済A・B 産業組織A・B 財政A・B 金融A・B	ミクロ・マクロ経済分析：理論と実証 統計分析 日本経済論
制度・歴史	上級政治経済学I 上級経済史I 上級経済学史I	現代資本主義A・B 経済学史A・B 社会思想史A・B 日本経済史A・B 西洋経済史A・B	社会経済研究
経営・会計	上級経営I・II 上級会計I・II マネジメントI・II アカウンティングI・II	経営労務A・B ファイナンスA・B 生産管理A・B マーケティングA・B 経営組織A・B 経営戦略A・B 財務会計A・B 管理会計A・B 監査A・B 経営分析A・B 国際会計A・B 経営情報A・B	経済体制と企業経営 Introductory Accounting (英語) 組織論学説研究I 現代経営論 人事管理 危機管理論 知財戦略 企業の海外戦略 製品開発マネジメント 財務会計・管理会計 金融・ファイナンス

※修了のためには、前期課程では演習を含め30単位(15科目)、後期課程では演習を含め20単位(10科目)を履修が標準必要です。
※本研究科では、レギュラーで開講される基礎科目・専門科目以外に、課題設定型講義、課題設定型ワークショップとして、その時々のニーズに合わせた科目や最先端の研究に触れる機会を提供しています。

2020

経済学への
アプローチ
名古屋大学大学院
経済学研究科案内

